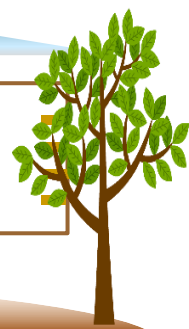


ぼちぼちいこか

学校だより3月号

2025.2.28 発行

教育理念
生きる喜びを抱き
自ら学びを拓く



感じて 考えて 創る

校長 大谷 京司

「自然」から発想をめぐらし“春夏秋冬～四季折々～”というテーマで子どもたちが創り上げた今回の芸術祭。音楽を始め、各エリアの展示物や体験コーナーは子どもたちの発想を生かし、様々な工夫が凝らされていました。

子どもたちのこれからの時代は、AIとの共存が日常となるのでしょうか、“感じる”ということはいかにAIが高度になってもおそらく一番難しい分野だと思います。子どものうちから感性を研ぎ澄ませ、感じたことを基にいろいろな角度からものごとを考えて新たに創り出すということは、AIを上回る本質的な人間としての営みではないかと考えます。

プロジェクト(探究学習)も自分自身で何かを感じた分野を探究していく過程において、いろいろなことを考え、自分なりに新たな考えや疑問をもちます。今回、保護者他ご来場していただいた方々にさまざまな質問をしていただいたり、ほめていただいたりしたことにより、一層自分のやっていることに自信をもったり自分で問題解決に向かう楽しさを覚えたりしたのではないかと思います。ありがとうございました。



芸術祭 オープニング

芸術祭 各エリア 2.15(土)

春夏秋冬をイメージした各エリアにはゲームや体験コーナー、スタンプコーナーもあり、来場者への説明も子どもたちで考えました。保護者の皆さんが参観・体験後に喜んでいる姿を見て、子どもたちもやったー！という達成感をもてたようです。



魚釣り

花見スポット

街づくり



版画・木作品展示



迷路



雪だるまに雪玉投げ

プロジェクト・ホンダーネ演奏会

自分の興味・関心に基づいて探究したプロジェクトについて前後半に分かれて全員がパネル発表を行いました。お客さんが目の前に立って興味深そうにパネルを見ていると自分の探究した成果について発表を始めます。質問にもその場で考えて即対応します。繰り返すごとに子どもたちも度胸がついてきます。



陶芸作品展示・プロジェクト発表会場

最後は、Indeed!(ホンダーネ)のお二人によるアイリッシュハーブと木製フルートの演奏に、温かなぬくもりを感じながら芸術祭の幕を閉じました。



ホンダーネのお二人とコラボ演奏



プロジェクト発表



プロジェクト発表

「くらし」の授業で“味噌づくり”、“太巻き・豚汁づくり”



2月20日(木)は朝から1日「くらし」の授業を行いました。まずは、昨日から水に浸して倍くらいの大きさに膨らんだ大豆を外のかまどで煮る作業から。子どもたちは時々あく取りをしながら、試食をして大豆の変化を自分で確かめてみます。煮始めて30分くらいの時は、「まだ固い」「草みたいな味がする」といった感想だったのが、3時間過ぎたころには、「すごく柔らかくなっている」「少し甘みも感じる」「おいしい」等に変化してきます。5時間ほど煮た後、煮大豆を丈夫なビニール袋に入れて大豆の温かさや踏みつぶすときの感触を感じながら足で豆を踏みつぶしていきます。その後は、塩と麴を混ぜ合わせて味噌玉を作り、空気が入り込まないように思い切り樽に投げ入れて出来上がりです。2学期以降、給食で提供予定です。



太巻きは、具材に卵やかんぴょうなどの他、学校で採れた菜花やスティックセニョール(茎ブロッコリー)などの野菜も加え、いろいろよく巻いて仕上げていきます。豚汁づくりも含め多くの作業工程があり大変でしたが、上級生が下級生に手を添えながら上手に教えてあげている場面もあり、満足した出来上がりとなりました。

